

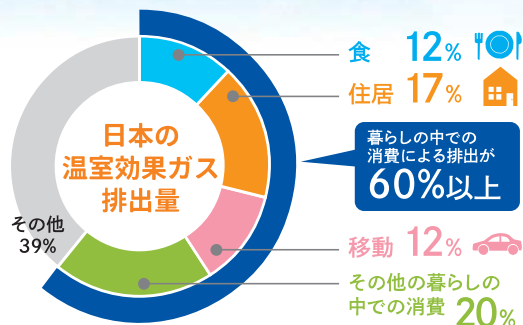
始めよう! 暮らしの脱炭素化アクション

ライフスタイルの転換を!

地球温暖化の主な原因である温室効果ガスの排出の約6割は、日々の暮らしに起因しています。

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。

※「消費ベース(カーボンフットプリント)から見た日本の温室効果ガス排出量」 環境省作成資料を一部加工



未来のために、できるところから取り組んでみませんか。
脱炭素につながる新しい豊かな暮らし

●年間のCO₂削減効果 ※条件 ★年間の節約額の目安(↓)

LED照明・省エネ家電の導入

●冷蔵庫:163kg/世帯

※10~14年程度前の冷蔵庫を最新型の製品に買い換えた場合

★LED照明:3千円↓ ★省エネ家電(冷蔵庫・エアコンなど):2.8万円↓

クールビズ・ウォームビズ

●19kg/人 ★4千円↓

※冷房の設定温度を今よりも1℃高く、暖房の設定温度を今よりも1℃低く変更した場合

太陽光パネルの設置

●1,275kg/戸 ★5.3万円↓

節水

●11kg/世帯 ★1.6万円↓

※水使用量を約2割削減した場合

省エネ給湯器の導入

●121kg/人 ★3.5万円↓

※ガス・石油給湯器をヒートポンプ式給湯器に置き換えた場合

ごみの削減・分別

●4kg/人 ★4千円↓

※容器包装プラスチックを全てリサイクルした場合

公共交通 自転車・徒歩

●653kg/人 ★年1.2万円↓

※自動車移動をバス・電車・自転車に置き換えた場合

次世代自動車

●242kg/人 ★7.5万円↓

※電気自動車を使用した場合

宅配サービスを1回で受け取り

●7kg/人

※年間72個(月6個程度)の宅配便を、全て1回で受け取った場合

COOL CHOICE 検索

●年間のCO₂削減効果:環境省「ゼロカーボンアクション30レポート2021」より

★年間の節約額の目安:環境省「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」より